

(議長)

追分観光課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

「追分観光課長」。

「追分観光課長」(補足説明)

それでは、私の方から追分観光課所管の予算について、説明させていただきます。歳入は前年から大きく動いていませんので、割愛させていただきます。

歳出です。前年度と大きく変わった点を予算資料の方で説明させていただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。15頁をお開きください。15頁の217番からが当課所管になってございます。

まず、その217番です。日本遺産地域活性化推進事業ですけれども、日本遺産に関する国の補助金は、平成31年度、約1千万で、3か年の補助期間が満了となります。予算額1,138万5千円を計上してございますが、このうち、1千万円は、補助金の事業主体である江差町観光まちづくり協議会が、国から補助金を交付される迄の運転資金としての貸付金となります。残の138万5千については、大型ニシンのぼりの掲揚や、補助対象とならない経費への負担などになってございます。続いて、218番、古くて新しいまち江差観光振興事業です。予算額4,315万2千円を計上してございますが、恐れ入りますが、こっちはですね、追加でお渡ししております資料2を使って説明させていただきたいと思っております。資料2の91頁をご覧下さい。91頁のですね、下側に参考という所がございまして、ここに、4,315万2千円の内訳を記載してございますので、こちらで説明させていただきます。まず、昨年3月に立ち上げました、一般社団法人北海道江差観光みらい機構運営補助として3,276万3千円、ぷらっとえさし運営事業資金の貸付金として300万、地域DMO推進事業委託として150万円、情報発信コンテンツ更新委託などで250万、他事務費となつてございます。続いて、戻つてですね、予算資料の16頁をお開き下さい。

とんで226番、繁次郎番屋の管理についての所で説明をさせていただきます。国道側から番屋側へ渡る橋について、実はあれ、見かけは木製ですけれども、橋げたが鉄となつてございます。平成5年に作られた橋でして、かなり錆びも出ておりますので、安全性について点検していくという事で49万5千円、今回盛り込んでございます。続いて、227番、観光客誘致宣伝対策ですが、現在、観光客の皆さんから、にお渡ししているパンフレット、これはあの約12年前に作った物でして、今回、それを刷新させていただきます。その経費として162万2千円を計上してございます。

とんで、次は追分会館の管理費です。231番、江差追分会館の指定管理料金として、トータル、今、3,205万3千円ですが、指定管理料として3,019万円を計上してございます。現在の指定管理は、平成26年から今年度迄となつてございまして、来年度からのプロポーザルを実施しました。現年度から112万1千円の増となつてございます。

続いて、232番の追分振興費です。2020東京オリンピック・パラリンピック・江差追分プロモーション、来年度に迫つた東京オリパラですけれども、ここの開会式などで、世界から日本においでになつた方々に江差追分を披露出来るように、プロモーションをして行

くと、今現在、アイヌ文化財団の皆さんと一緒に活動はしてございまして、財団の皆さんが本州に出られる際に、私達も同行しながらPRする方向で、現在協議を重ねております。

予算については、以上で説明を終わらせて行きます。

続きまして、本議会に指定管理者の指定について、提案させて頂いておりますので、議案の123頁をお開き下さい。議案の123頁、議案第24号です。施設の管理運営を、すいません。江差追分会館と江差山車会館、この2つの施設を指定管理者に指定、指定管理者を指定して、管理して頂くというものでして、今回、プロポーザルで指定する団体としましては、これまで管理して頂いている株式会社舞台派遣の方に、平成31年4月1日から36年3月31日迄の5年間、委託する方向で、事を今定例会に提案させて頂いております。

追分観光課の所管に関する予算並びに議案の説明については、以上です。

(議長)

説明が終わりましたので、質疑を許します。質疑希望ありませんか。

「小林議員」。

「小林議員」

日本で最も美しい村連合加盟対策についてお聞きします。2015年に加盟してから4年目、4年が経過しました。この間ですね、サイクリングフォーチャリティなど、課長方、皆様、汗を流して、大変頭が下がる思いですが、そろそろ、費用対効果という感じで、成果をですね、お聞きしたいなと思います。

また、再来年度ですね、再審査を迎えますので、今後の方針、お伺い出来ればと思います。

(議長)

「追分観光課長」。

「追分観光課長」

日本で最も美しい村連合の関係ですけれども、費用対効果と言われておりますけれども、この連合加盟は観光振興という観点をまず我々、当然課ですから、第一義的に進めてございまして。1つの町、江差町でプロモーションをかけようとしても、非常にその弱いというのがあります。今、美瑛町ですと、例えば北海道で言えば美瑛町、あるいは黒松内町、そういった、赤井川村ですか、そういう小さな村と一緒にですね、魅力ある村と一緒にプロモーションをかける事によって、例えば今回も東京の方で、一斉にタイのお客様を集める、ちょっと、お待ち下さい。人数があれですねども、沢山のお客様をね、集客出来るようなプロモーションをする事が出来ます。そういう意味で言えば、100数十万の経費を掛けてございまして、私達とすれば、十分、これからもですね、出来れば、この美しい村に加盟する中で、例えば、観光客が函館に来ました。じゃあ次、どこ行こうかという時に、その1つとなる様に、ぜひこの美しい村には加盟しながら、観光プロモーションこれからもかけて行きたいというふうに考えてございまして。

(議長)

いいですか。

「小林議員」

はい。

(議長)

次に、「小野寺議員」。

「小野寺議員」

4つ。ちょっと題目、町営レストラン。江差追分。今、小林さんから出ましたが、日本で最も美しい村連合、日本遺産と。4つ。

まず、町営レストランですが、資料要求で頂きました。それで、数字を見て、別に私こういう経営的な事を分かりませんが、数字だけを見ますと、大変、厳しい実績という事なのかなと、それ以上の分析している訳ではありませんが、まず、この数字と色んな背景もあるかもしれませんが、この間の担当課の評価をお聞きしたいと思います。それで、その上でなんですが、客観的に数字が伸びないという事は、経営的に大変厳しいといえますか、指定管理者として、江差町として、なんとか頑張ってくれて事になるのか、一定の改善策も求めると言う事なのか、そこら辺、指定管理者との話し合いという事、何かやってきたのか、考えているのか、お聞きしたいと思います。これが1つです。

2つ目、江差追分なんですが、私も、どういうふうに聞こうかなと思って色々悩んでるといふか。1月19日の札幌コンサート、私も、ちょっと知り合いといふか、誘った責任も会って、その誘った方と一緒に行って来ました。一言で言えば、本当に感動して帰って参りました。その上で、2、3お聞きしたいと思います。といふか、今後の在り方について、提案的な質疑で、課長としてどう考えるかといふふうに聞いて頂ければなと思います。

1つは、言葉中々しんどい言い方になりますが、今の江差追分の第一線で頑張っている方々、本当に、この間、長年苦勞されている方も、それから、本当に今、波に乗っている方、それから、今売り出しの方も含めて、本当に多種歳々ですが、が、思い切って若い人を表に出すと、そういう事が私ね第一印象として、コンサート聞いて思いました。はっきり言って、これがまず私の印象です。この点について、ちょっと課長のお考えも聞きたいんですが、なぜか、どうしてかという点ですけれども。江差追分は、確かに江差の色んな所の中の部分で、江差追分については、日本遺産にしても、美しい村、色んな意味で、この日本遺産、江差追分も大事な要素という事は分かりますけれども、これからずっと、この江差追分を守って行くにしても、伝承するにしても、若い方を子供さん方を引き込むにしてもですよ、やっぱり江差追分が江差町として胸を張って、全道、全国に持って行くという意味では、やはり若い力をしっかりと見せて行く。それによって、場合によっては、ああいう札幌でどれだけ稼げたかどうか分かりませんが、私は江差追分でも、十分に稼げるんだという事も含

めてですね、そうすると江差追分をやってみようと、江差追分を自分の大きな仕事としてやっていこうという部分だって、出てくるんじゃないかなと、そういう点で、私は今の若い方、十分にその力はあるというふうに見て来たんです。本当に素人的で申し訳ないんですが。そういう意味で、若い人を思い切って使って、そして、稼げるんだと、で、そういう稼げる場は、中々江差は大舞台が取れないという事も含めれば、やはり、定期的なコンサート、札幌等、函館、分かりませんが、やって行くと。もしかしたら今回、札幌コンサート、相当、町職員関係者、行ってましたから、その部分はもしかしたら、どうなっているんでしょうかね、そこら辺色々やってたら、中々稼ぐという事になってないかどうか分かりませんが、とにかく、私はあれだけの大きなホールを使って、素晴らしい、やって、2回やって、多くの方々にアピール出来たと、今後も十分に可能性はあると、そういう点で若い人という意味であります。これが1つ。

それから2つ目。江差追分ですよ。今若い方思い切っていたんですが、もちろん、長年苦勞された方も含めて、しっかりと江差で頑張ってもらおうという事はありますけれども、どう考えてもですね、待遇というか、何て言ってもいいか、追分、中々、すぐ稼げないとすればですね、色々な意味でやはり町としても、待遇についてはもっと厚くする必要があります。今後、きちっと稼げるんだったら、それはそういう論議は必要ないですけれども、だからといって、そうすぐならんとすると、やっぱり、追分関係者が追分関係者として、特にそういう名人とかですね、一定の部分については、しっかりと一定の待遇も、そういう意味では、ある意味、お金という事になって来ますけれども、待遇をしっかりと行く。札幌辺り、私、親戚の方が追分の事を聞けばですね、本当に、もう神様というか、追分名人はですね、なんですよ。それから、道場というんですか、やっている所は、本当にしっかりとした一定の待遇と言いますか、なっている。江差町としても、やっぱり追分関係者、特に名人の方々も含めて、しっかりとした待遇的なものしなきゃなんないじゃないか、というふうに、これは前からの持論なんですけれども、で、最後ですけれども、こういう事も踏まえて、今後、こういうコンサートをどの様に江差町として、総括というか、して、今後の継続的な事も含めて考えていらっしゃるか、も、この江差町追分の2問目でちょっとお聞きしたいと思います。追分以上です。

それから、日本で最も美しい村連合、私は、ちょっと小林議員と違った角度で。一応、美しい村連合の部分では、いにしえ街道、江差追分、姥神大神宮渡御祭、この3つが登録された地域資源という事なんですか。これはこれで、ここをしっかりとという事は分かりますが、ただ私みたい、中々、こう良く分からない部分はですね、日本で最も美しい村となると、やっぱり美しい村ですよ。つまり、ここ町ですけど、そういう美しいというイメージ、美深だとかですね、色々あります。やはり、美しいという意味では、色々外堀も含めて、やはり、しっかりと計上の事業で、色々今江差町でやっていますけれども、この美しい村をしっかりと根付くためには、町を綺麗にする。これ、建設水道課の仕事かも知れませんが、花の問題だとかありますけれども。江差町がやっている、今個々でやっている部分も含めて、しっかりと、日本で最も美しい村という位置づけの中で、統一的な事業展開をやって行く。例えば、恐縮ですが、ここでしゃべりますけれども、花壇にしてもですね、バラバラな花壇でなくて、

本当に統一的な花壇を、柳崎から入ったら江差の一定の所まで、それで見せるだとか、樹木についてたって中々しんどいかも知れませんが、そこもしっかりと、とか、これは、日本で最も美しい村のイメージとして、やっぱり、ああ綺麗だな、だろうと思うんですよ。で、入って来た時に、そうか、いにしえ街道、江差追分、姥神大神宮って事になるかも知れません。いずれにしても、ここはこの事務局が観光だとすると、観光の部分でも各関係と、しっかりと歩調を併せて、肉付けというか外堀というか、やっ行って行く必要があるんでないのかなあというのが、私の日本で最も美しい村連合の質問の主旨であります。以上。

最後。日本遺産についてですが、これはですね、あまりそんな、全体的な質問ではないんです。ちょっと細かくて恐縮ですが。2年前の事業に外国人誘客調査でしたか。400万円。私もちょっとうっかりして、これって何か成果品、議員に配られたんでしたっけ。ごめんなさい配られていたら。要はですね、これだけ公費、公費を使って、去年、一昨年、29、30、そして31というふうになりますけれども、じゃあ、例えば29年の外国人誘客調査で、何を調査して何を導き出して、今どういうふうこれを持ってきているのか。後でもいいから、もし、議員に出てなければ出てたとしたら、私ごめんなさいと言うしかないんですが、開いてなかったかも知れません。400万ですよ、400万。で、なおかつ、私、一般質問で外国人の問題を出して、まったく知らなかったですね、これね。お恥ずかしいんですが。という事で、まず、教えてもらいたい、これが1つ。で、この問題で、ニシンのぼり。ニシンのぼりも400万。やっております。これこの間、何回もこの場で論議になりました。室井議員からも確か、かなり厳しい論議にもなりましたが、そもそも、この日本のぼり、平成29年で400万という事ではありますが、どうするのか、どうするのか。でっかいのは、こうやんのかも知れませんが、あれだって本当に、ですが、小さいと言うか、役場の前とかですね、あれ、色っという問題も出てましたけども、あれ、あれまた、更新して、また、こうやるのかですね、私やっぱりね、ちょっともう、どう考えても、考えなきゃなんない。あの色、これはもう室井議員が何回も言って、私いっつもそうだそうだって、どうしてたんですかって、私もやっぱり一言言わなきゃなんない。あの色考えたらどうしてもですね、ちょっと元気が出ない。元気が出ない。と、写真のイメージだって写ったらそうですね、写真で見たら。これはまずどうするのか。ちょっと教えて頂きたい、お考えをお聞きしたい。以上です。

(議長)

「追分観光課長」。

「追分観光課長」

小野寺議員から、大きく4点についてのご質問ございました。

まず、町営レストランに関してです。2つの観点から来てましたけども、まず、担当課の評価、それから話し合いの部分です。私達自身も、非常にその厳しい状況だなというふうに思ってます。話し合いの方に、お話し進みますけども、上の方からも、しっかりその事業者と膝詰めで、話す時間を設けなさいという指示に、指導、指示を受けてますんで、議会が終

わりましたら、話し合いの場を設けながら、分析、あるいは対応策、この辺について事業者側も、がどう考えているのかを、お聞きする場を設けたいなと思っています。また、私達も、このレストランは町の大切な資源ですから、沢山入る、沢山その観光客が来た時にですね、受け入れる食事処という事で大切な資源と思ってます。町営レストランは。そういう意味では、町として何が出来るのかは、例えばソフト的な部分の検討も進めて行きたいと思っておりますので、その点、ご理解頂きたいと思っております。

2点目です。江差追分、江差追分についても、2つの観点からお話しを頂きました。思い切って、若い人間を、若い唄い手を出すべきではないかというお話です。議員が言われる所で、実はあの、追分会の方なんですけども、理事の方は、前回、2年前に若手に切り替えてございます。江差の若い女性2名を理事の方に入れさせて頂いて、実は、この外で追分を披露すべきじゃないかと言うのも、その1名から出たお話しです。たまたま、タイミングでHBCさんが来ましたから、今回、乗る事が出来ました。若い人というお話しありましたけども、果たして、コンサートでもじゃあ若い人だけが受けたのかと言うと、89歳のね、歌が、一番、こう拍手を頂いていたと。要は老若男女、それぞれの持ち、良い所ありますんで、しっかり、そういう、例えばこれからこういう舞台をやる時は、そういう織り交ぜながら、皆さんに聞いて頂きたいと思っております。ただし、若い人という所は、しっかり踏まえながら、今回、子供にも出演頂きましたけども、ああいう舞台で歌う事で、追分を続けたいと思ってもらえる様な、そういう形で進めて行きたいなと、思っていました。

あと、待遇面を厚くするべきじゃないかという事です。理想とすれば、確かに江差追分の優勝された方々がそれである程度ね、生活出来ればいいなというのは、私も思っていますが中々それは簡単ではございません。かと言って、江差町としても、追分の他にも観光的な部分、分野、あるいはもっとその住民に身近な分野もあります。ここにだけ投資という所には中々行きませんので、かなり我慢している部分は、我慢してもらっている部分はあるなと思っておりますけども、追分を普及して行かなきゃなんないと言う点では、そういう優勝者、あるいは師匠、そういう方々も一緒に気持ちでいてくれると思っておりますので、これからも厳しい状況ですけど、そういう形をお願いをしていかざるを得ないのかなと思っていました。

日本で最も美しい村連合について、内的な、内的なお話しだったかなと思っております。統一的な花壇の整備などというお話ですけども、そこを今すぐ出来るとは私も思っておりませんが、紫陽花のお話しもあります。建設水道課と一緒に進めて行きたいと思っておりますし、実は、花だけじゃなくて色々な分野がこの美しい村に結び着くんだらうなと思っております。例えば、中学生の挨拶。例えばですね、江差のですね、中学生の挨拶は、学校の先生あるいは、観光客の皆さんからも非常に好評を得ていると言うか、いいですねというお話を頂いております。そう言った挨拶運動1つ取っても、多分、大人もしっかり巻き込みながら、美しい村の運動の1つになるのかなと思っておりますので、そういう巻き込みもして行きたいなというふうに考えてございます。

最後、日本遺産についてです。外国人誘客調査研究、29年度の実績ですけども、これは旅行会社にお問い合わせしながら、海外のお客さんに江差に来てもらう。その方々が江差を堪能して頂いてどうなのかっていう調査と研究です。そこで、出た成果品はございます。事業実施

主体である江差町まちづくり、江差町観光まちづくり協議会、こちらのメンバーには配付してございましたけども、議員の皆さんには配付していなかった、いませんでした。手元にありますので、今後、配付して行きたいと思っておりますので、ご理解頂きたいと思っております。

最後、ニシンのぼりです。大きいニシンのぼりは、昨年、クレーンで、江差の鷗島のそばで掲揚させて頂きました。これは今年度も5月にやらせて頂きたいと思っております。江差の町中にあるニシンのぼりですけども、くすんだ色だというふうなご意見もございます。もちろん、小野寺議員、あるいは室井議員からも厳しいお話しでございますけども、観光コンベンション協会の方でやっている事業です。ですので、そちらの団体の皆さんには、お伝えしておきます。そこでまた議論をしながら、対応を取って頂きたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。以上です。

(議長)

はい、「小野寺議員」。

「小野寺議員」

下の方の3つは分かりました。1番目、町営レストラン。それで、そうですね、私も、1問目の時に言いましたが、中々、こういう経営的な事分かりませんので、精々言える事は、利用、利用客、使う側として、使う側として、聞いて頂ければなと思っております。実は去年秋以降、少し意識的にちょっと食べて見ようという事で、去年の秋以降、そうですね、1、2、3、4回、4回かな。つい最近は、2、3週間前に。ちょっと、色々、季節、それから時間帯、曜日、あと何だったかな。メニューですね。を、ちょっと色々考えながらやりました。結果的にはですね、ちょっと、複数で誘って行ったり、して、メニュー的には予想外だったんですが、本当に限られた部分の話ですから、全体的な統計的な話でないの、そこは、そういうふうに聞いて頂きたいんですが、割りかし評判良かったんですよ。ただ、ちょっと、そばですとちょっと少ししょっぱいねと、江差ってしょっぱいんだって、返しておきましたけれども、いや、これは改善の余地はあるかなとか、そういう部分ありましたが、まあまあ評判良かったんです。で、出たのはですね、1つは、その時期もよったのかも知れませんが、中の職員の方が、本当に少なくてですね、会計、もう何人も固まっちゃって、ああこれちょっと大変だねって。あの、だから職員の配膳から、それから会計の方からあその全体的な事どんなふうになっているのか。指定管理をする時にどういうふうにそこら辺は、考えられているのか。いずれにしても、これちょっとしんどいなっちゃうのがありました。もう1つは、もっと発信して欲しいと、発信。発信。今、例えば、私が函館でどっか何か、よし美味しいもの食べようとかですね、誰かを語らって行こうと思ったらやっぱり調べますよ。もうこれで調べるんです。ですから、今後、今後、メニューだけじゃなくて、場合によっては、それに付随する色々な江差の宣伝も含めて、だから江差に来て食べてねっていうストーリー、それこそストーリーを作りながら、とにかく発信する。という事は、もう絶対的に必要だなと思ったんです。それも今後のもし話し合いの中で、項目の中に入っているんだらあれですけど、入れてもらえればなというふうに思っております。あと、最後ですが、これ

はちょっと理想論かもしれませんが、お土産、あそこでお土産もですね、ちょっとスペース的に、スペース的に中々難しいのかも知れませんが、それから、追分会館との兼ね合いもあるのでしょうか、前も色々ありましたけれども、でも、やはり、食べに来る人は、併せてそこで一定程度お土産あっても私は良いんじゃないかなと思うんです。これは、指定管理の中で、もしかしたら仕切りか何かあるのか良く分かりませんが、これは、私の思い。個人の思い。でそういうのも、検討の余地がないのかなというふうにはちょっと思いました。以上、この点についてちょっと、課長のちょっとお考えがあれば、示して欲しいなと思います。以上。

(議長)

「追分観光課長」。

「追分観光課長」

先程もお話しした様に、町としてあるいはもしかしたらみらい機構の方でも、町のタイムリーな情報の中で、例えば、新しいメニューが出来ただとか、季節ごとのメニューだとか、そういう部分は発信出来るかも知れませんが、検討しながらやって行きたいと思います。また、お土産の関係ですけども。ふらっとやってみて思ったのが、ふらっと江差を自分でね、担当してやって思ったのが、ある程度、買い取りという物になってしまう可能性があるんですね、有名な物はですね。そうすると在庫になってしまいますので、非常に苦しい部分もございます。その辺がこれからその改善出来るのかどうなのかについては、また、先程言いました、話し合いの場でやって行きたいと思いますのでご理解頂きたいと思います。以上です。

すいません。職員についても、もう一回、確認してみたいと思いますので、利用者ですね、ご不便かけない様な形での体制整備、ここもしっかり予防して行きたいと思いますのでご理解頂きたいと思います。

(議長)

「室井議員」。

「室井議員」

2点かな、質問したいと思います。まずですね、去年のですね、この予算議会において、私、文化庁からの補助金の事業でね、ほとんどソフト事業ばかりやると。それ少し、ハードもね、例えばですよ、景観上配慮するべきもので、ハードも考えてもいいんじゃないがっていう質問に対して、課長答弁は、考えますっていうような答弁、確かなされたはずなんですよ。これ今年、今、あのですね、文化庁からの予算、1,100万ですけど、1千万はもうなくなっちゃうから、100、残ったお金100何万で、なんか、どういう事やるんですか。まず、それが1点。1つね。

2つ目。ちょっと私、広報見てびっくりした。よろしいですか、課長。これ入れましたよね。チラシ。日本で最も美し村連合っていうのは、これ何ですか。ね。どごだかの町、どご

だかの市の、ま、江差のそば、あの、入ってる。しかも謝恩価格。これ今ですね、小野寺議員も質問してました。民間で今ね、自分達でお金出してね、人を雇えてやって、大変な思いしてやってるんだよ。これなんか、今江差で頑張ってる商売やっている人方の、そういう心情とかそういうもの考えないんですか。私はこれ疑問だと思いますよ。根拠ちゃんと教えてもらいたい。それと、店内一部商品、50%、あそこ手数料なんぼ取りますか、20%でしょう。皆、高く出してないはずだよ。皆。出来れば安く買って欲しいから。その20%も取ってですよ、こういう事をやってたらね、既存で頑張っている人方どう思いますか。これが美しい村連合なんですか。ね、しかも私がずっと前から言っていた、今回の総務産業の常任委員会の意見書にも入れた、中村家の横のですね、あれ美しいんですか。地主と協議した事ありますか。あったら教えて下さい。それと。2点にしておく、2点、課長、きっちとね、出来る事は出来ないでいいよ。ちよちよと、課長聞いて。ね、小野寺議員もいい質問したのよ。だから私止めたの。ね、だから、あやふやな答弁しなくてもいいから。これはこうだと。ね、そういう答弁をして下さい。

(議長)

「追分観光課長」。

「追分観光課長」

2点のご質問ございました。去年の議会の中で、ソフトだけじゃなくてハードもという事で、そこはやったのか、あるいはやるのかという話だと思うんですけども、当初からその時も多分お話ししていると思いますけども、例えば何かを建てるだとか、そういう所でのお金は中々使えないという事をご理解頂きたいと思います。精々、例えば看板を作り直すなどといった、ハードと言ってもですね、そういう事業になってしまうという事で今回もですね、多言語の看板といたしまして、要は先程言いました、昨日小野寺議員がお話しされいましたが、追分会館だとか、あるいは郡役所に多言語の看板を入れるというような事で、今進めてございます。答弁にはちょっと厳しい部分ございますけども、精々出来ても、そういう事だっという事をご理解頂きたいと思います。

2点目。ぷらっと江差のチラシの関係でのご指摘だったと思います。あそこの施設は、アンテナショップという事になってございます。いかに沢山の人に足を運んでもらうかという事がとても大切な、大切であります。江差、5月から9月、追分大会終わる迄は沢山の方々が足を向けてくれますけども、観光客がいなくなった10月以降は、中々お客さんが1万人も町の中でですね、1万人もいないという状況になってございます。当然、町民に足を向けて頂かなきゃなんない。そうしなければ、委託販売している物も売れない。あるいは、そうやって沢山のお客さんに来て頂く事で、町民に来てもらう事で、お土産は何処で買えばいいという話の中では、ぷらっと江差という事でご案内頂けるかもしれない。今回、例えば、鴨そばの関係をまずお話しさせて頂ければ、要は買い取りです。買い取り。委託販売と買い取り販売でございます。で、委託販売は、室井議員からいちごを預かって、売れなければお引き取り頂くという物ですけども、私達は、買い取販売の、例えば美しい村ですとか、日本遺産

で購入して品揃えを、他にない物をこう用意した中で、若干それはロスが出て来ます。そういう中で組み合わせをしながら、江差の町中の人に来て頂きたいという事で進めてございます。また、10%、50%という数字は確かあります。ただし、すべからくっというものではなくて、ほんの限定した商品、それも、例えば、そうですね、ジャムの様な物で、賞味期限がかなり厳しい部分についての、させて頂いているという、販売の時には当然言いますよ。これは賞味期限がかなり迫ってますというお話ししながら、そうやって、販売しながらロスも避けて行きたいという事で、やってございますんで、ぜひご理解いただきたいと思います。

(議長)

いいですか。「室井議員」。

「室井議員」

あのですね、課長。何も私ね、文化庁の予算で会館建てれとかね、そういう事言ってませんよ。当然、文化庁の予算、予算つける時にですね、制約ありますよね。この中でやって下さい。されどですよ、少し、美しいとか考えるんだっただけですよ、配慮すべき事、私はある様な気がするんだよ。ね。そういう事をね、課長、自分でですね、やっぱり考える。自分だけで考えたら駄目だから、私いつも今回の議会で言ってるけど、やっぱり、他の課と連携してね、この中で何やったら今いいんだろうかっていう事をね、やっぱりね、考えて行く必要があると思いますよ。いいですか。例えばですね、課長、私言いますよ。ニシンが来ました。去年。のぼりだけでないですよ。これ民間で建てたんですよ。ある宿泊施設の、群衆、こうやってきました。これ読んで観光客2人、夫婦でおります。読んでおりましたよ。こういうのありますか。これ民間でやったんだ、個人でやったんだよ。町から何も一銭も貰わないで。こういうのこそね、鷗島のね、案内看板の横にね、もっと分かりやすくですね、やるべきでないんですか。そんなにニシン、ニシンって大事にしてる気持ちあるんだっただけですよ、むしろ、去年、来ましたと、本当に100何年ぶりですよ。こういうのこそね、ちゃんと綺麗に飾るべきでないかなと私は思いますよ。それと、これね、今、買い取しているとか分かりました。責めませんよ、何も。ただね、課長よく考えて貰いたいのは、片方ではね、ですよ、やっぱりね、細くても経営しているところあるんですよ。分かりますか。努力して、物売って配達して頑張っている店もあるんだ。そういう事の方のためにですよ、考えてやってくれるんなら私はいいですよ。そっちはさて置き、ぷらっとだけね、持続すればいいって問題でないんでないんですか、根本的に。そう思いませんか。今頑張っている商店街にこそ、手を差し伸べてやんなきゃならないんじゃないんですか。一緒に。私はそう思うんですよ。答えて下さい。

(議長)

いいですか。「追分観光課長」。

「追分観光課長」

先程、1つ、洩れてました。中村家の隣接する、決算特別委員会で室井委員からご指摘受けた部分ございました。そこについては、所有者の方に、所有者の配偶者の方に、実はこういうご意見もあるという、ぜひその確かに単管になってますんでどうにかならないかというような、お話しはさして頂きましたんで、ご理解頂きたいと思います。

あと、民間の力という所は、というお話ございました。実際の話、この文化庁からの補助金の使途に関しましては、2つの段階を経て、最終的に方向性を持って行ってます。1つは役場内のプロジェクトチーム、2つ目は町内の観光、あるいは観光以外の団体含めて、15、6、13の団体の皆さん、代表者に集まって頂いて、江差の観光を高めるためにはどうしたらいいんだという様な形での事業の構築していております。ただし、室井議員が今言われた、群衆の看板、確かにストーリーの中でも本来は見れる部分ではなかったのかなと思って、私自身、事務方としてももう少し声を出すべきだったかなとは思って反省しているという事でご理解頂きたいと思います。

(議長)

いいですね。

他に、質疑希望。

「追分観光課長」

ちょっとちょっと。

(議長)

はい。誰。「町 長」。

「町 長」

今、室井議員のご質問、何点かありましたけれども、全てがですね、観光まちづくり協議会に関わる事でございます。観光まちづくり協議会、今、尾山担当課長からも話しましたけれども、民間の団体が構成している団体です。それが、昨年、ぷらっと江差を民間のその皆さんから運営されていたのを引き継いでやって来ています。1年間もなく過ぎようとしている、経とうとしている所です。その以前の経営の段階では、民間の皆さんが運営されている飲食の部分ではですね、以前では、かなり安いお蕎麦、うどん、カレーライス、こういう物を提供していた過去がありました。やはり、これでは、それを我々行政が関わる上で、それを引き継ぐという事はですね、やはりすべきではないと、室井議員と同じ気持ちでですね、それならじゃあ違う、しっかりですね、何て言うか差別化をして行かなければならない、そういう事を考えた時に江差にまつわる物であるとか、あるいは、今、議員がご提示された鴨の肉を使ったうどん、蕎麦を提供させて頂いております。その鴨の肉も美しい村連合で加盟している町のもの特産を置かせて頂いている。やはり江差のもの。物産だけでは、中々充実した品揃えがない、他の所では色んなこう、地域の物だけではなくてですね、北海道だったら何処でも売っている様な物売ってるんです。それであってはいけない。何か江差が関

わる様な物、それを売って行かなければ、江差町としてのアンテナショップにはなり得ないんでないかという様な考えを持っています。そういう中で、日本遺産の関係する町、あるいは、日本で最も美しい村に加盟している町、こういう物の物産を集めて、今販売をしています。江差は、かつてニシン漁も盛んで北前船の交易で栄えた地域です。江差で取れる物と言えば、ニシンと檜あすなろだったと思います。その他の交易の拠点となる得た、やはりそういう歴史は、そういう物々の色んな交流があったからこそ、江差町がここまで発展してきた、そういうストーリーを持ってでもですね、そういう物を江差にまつわる、江差と関係のある江差の物とともにですね、PRをして行くという事もまた、1つの戦略かなというふうに思っています。

もう1つは、飲食店、だいたいですね、数店あるようですけれども、だいたいお昼の時間1回休憩します。2時とか3時とか。その後、例えば4時、5時、3時からですかね。3時、4時の間に、何かちょっと小腹がすいて食べたいという観光客が、飲食出来るところは非常に江差町は少ないという様な声も聞いています。例えば、そういう他の飲食店では出来ない時間に、我々の所に来て頂くという所で差別化が図れるのではないかとか、そういうですね、民間の飲食店がやっている所とは違う差別化をいかに工夫してやって行って、来たお客さんに喜んでもらえる様な店舗作りをして行くか、ということを考えて行かなければならないなと思っておりますので、ぜひですね、その点は、室井議員とは非常に方向性、考えている方向は一緒だと思いますので、ぜひ、ご理解を頂きたいなと思います。

また、先程、尾山課長からもありましたけれども、今回、予算ついて1千万が貸付というかですね、運転資金としてあるんです。これは、後に、文化庁から1千万円来てですね、今年、1年もこの1千万を活用するんですけども、この1千万円の使い道もそういう各団体の皆さんと一緒に協議をして決めて行きたいと思っておりますので、我々、役場だけで、決めるという事はしておりませんので、是非ですね、そのアイデアも皆さんの、地域の皆さんのアイデアを活かしながら、有効に使わせて頂ければなと思いますので、ご理解願えればと思います。

(議長)

はい。「室井議員」。

「室井議員」

町長分かったよ。最後に、追分観光課長。ね、大変だと思いますけども、ね、要はね、課長いいですか。今頑張っている、既存のね、ぷらっとに行ってもやっていると、そういう人方の想いでも、大事にしてやって下さいという事なんですよ。それをやらないと、旅館組合の、みたいなああいうのが出て来るって事言ってるんだよ。ね、そこも、ちゃんと相手を思いながら、これをやった場合には、今頑張っている人方どうなのかなという、そういう、いい魂持って、やってけれ。以上です。

(議長)

他に質疑希望ありませんので、追分観光課。あ、なした。

(議長)

はい。「飯田議員」。

早く、挙げてちょうだい。

「飯田議員」

最初から挙げてあるっしょ。何処見てのあんた。

(議長)

最初がら、挙げてないって。

「飯田議員」

確かに頑張ってますよ。やっぱり、町長が言う所の社団法人ね、観光客と迎える町民と繋ぐ役割、そして観光客と地元の焦点と結ぶ役割ですよ。社団法人は利益追求が目的でないですから、その辺とかしっかりやっぱりね、頭に刻んでやることによって、地元の飲食店や小売店がね、やっぱり影響を受ける様では作った意味がないですよ。その辺の所はきちっとやっぱり押えて、やってもらわないと駄目だと思うんですよ。まず、それに対して考え1点と。

私、やっぱり一般質問でもちょっと出して、取り下げしましたけれどもね、やっぱりそれを運営するふらっとでもね、社団法人運営するのでもね、やっぱり人材ですよ。事務局長以下。現場に出る店長、やっぱりね、今回、やっぱり、その人が辞めたって事が私どうもそれが心配なんですよ。その点、含めましてですね、やっぱり、給与の平均性を含めて、きちんとそういう内部の統括も管理をしながら当たって行くべきだというふうに考えます。その2点について、お尋ねしたいと思います。

(議長)

「追分観光課長」。

「追分観光課長」

2点のご質問ございました。まず1つ。先程、室井議員と重なると思います。要は民業を圧迫するなど。要は、機構は観光客と住民、あるいは観光客と企業、企業と言うか業者との間に入ってしっかり働く様にとは、新しく法人が立ち上がって、事務所が移ります。しかし、私達もしっかり毎日の様に彼らと協議を進めながら、連携を取りながら、そこはしっかり彼らにも守って頂く様に協議して行きたいと思いますので、ご理解頂きたいと思います。

人が辞めたという部分でのご指摘でございます。何て言うか、職員、待遇の部分で厳しいんじゃないんだろうかというお話だと思いますけども、私達が周りの道の駅ですとか、類似する所を比較しても、余りその厳しいなという状況ではございません。例えば、今835円が最低賃金になってございますけども、それは上を、すいません。それよりは、上をいきな

がら、ただ、厳しいお金で働いて頂いているのは間違いございません。今回、飯田議員がねご心配される2人の退職に関しては、1人は去年の夏以降に、ご結婚というお話も伺ってますし、もう1人は、ご自分でお店を出したいという前向きな退職で、だと私は聞いております。実際、その辺が、やっていただければいいなと思いますので、決してその、待遇が悪くてというふうには捉えてないという事でご理解頂きたいと思います。以上です。

(議長)

他に質疑希望ありませんので、追分観光課所管の予算並びに関連議案についての質疑を終わります。

(議長)

以上で、本日の日程は全部終了致しました。

本日はこれで散会致します。大変ご苦勞さんでした。

閉会 16:10